

文書の誤廃棄について（お詫び）

このたび、当センターにおいて、文書保存箱（1箱）に入った調剤済みの院内処方箋が、再生用の古紙として処分されていたことが判明いたしました。

患者様の個人情報に記載された重要な文書を誤って廃棄してしまい、深くお詫び申し上げます。

当該文書保存箱内の院内処方箋については、清掃業者から運搬業者、再生業者と渡って処分されたことを確認しており、個人情報の流出・漏えいの恐れはないものと考えています。

また、既に調剤済みのものであり、処方内容については、電子カルテシステムにより電子情報で保存されていることから、患者様に対する影響はありません。

病院としても、県民の皆様の信頼を損なう重大な事故であると受け止めております。改めて個人情報について重要性を深く認識し、文書の適正管理について必要な対策を講じ、こうした事故を再び起こすことのないように努めてまいります。

令和元年8月7日

神奈川県立循環器呼吸器病センター所長



県立病院における文書の誤廃棄について

地方独立行政法人神奈川県立病院機構 神奈川県立循環器呼吸器病センターにおいて、文書保存箱（1箱）に入った、調剤済みの院内処方箋が再生用の古紙として処分されていたことが判明いたしました。

1 廃棄した文書

文書名	院内処方箋（平成31年4月16日～30日調剤分）
件数等	入院患者分 2,167件 外来患者分 199件
記載内容	患者番号、患者氏名、年齢、性別、生年月日、身長、体重、 受診科、医師名、薬品名、用法用量 等

2 経 過

- 7月24日（水） 薬剤科文書担当が、今年上半期分の院内処方箋入り文書保存箱をまとめて長期保管場所に運び込んだ際、1箱の所在が不明であることが判明し、同日以降関係箇所等を搜索。
- 8月2日（金） 防犯カメラの映像から、清掃業者により再生用古紙と一緒に院内古紙保管場所に運ばれたことを確認。
- 8月6日（火） 当該保存箱が清掃業者から回収業者を経て再生業者に渡り、再生紙原料としてプレス処理されたことを確認。

・調査の結果

- 5月31日（金） 当院薬剤科調剤担当が、院内処方箋の入った文書保存箱を薬剤科内で、室内保管場所から廃棄物ケース近くに移動した。
- 6月1日（土） 清掃業者が、当該保存箱を薬剤科内から院内古紙保管場所に搬出、回収業者により再生業者に運搬され、プレス処理された。

3 患者様への影響

当該文書保存箱内の院内処方箋については、清掃業者から運搬業者、再生業者と渡って処分されたことを確認しており、個人情報の流出・漏えいの恐れはないものと考えています。

また、既に調剤済みのものであり、処方内容については、電子カルテシステムにより電子情報で保存されていることから、患者様に対する影響はありません。

なお、患者様からの問い合わせ窓口を設けました。（電話(045)701-9581(代表)）

4 今後の対応

処方箋の適切な管理について徹底し、再発防止に取り組みます。

5 神奈川県立循環器呼吸器病センター 中沢明紀所長のコメント

このたびは、患者様の個人情報が記載された重要な文書を誤って廃棄してしまい、深くお詫び申し上げます。病院としても、県民の皆様の信頼を損なう重大な事故であると受け止めております。

改めて個人情報について重要性を深く認識し、文書の適正管理について必要な対策を講じ、こうした事故を再び起こすことのないように努めてまいります。

(問い合わせ先)

地方独立行政法人 神奈川県立病院機構

神奈川県立循環器呼吸器病センター

横溝事務局長 太田副事務局長

電話 045-701-9581(代)